

九頭竜ダムができるまで福井県でしたが、ダム建設によって集落が湖底となりました。昭和33年(1958年)に福井県の飛び地となり、岐阜県側の白鳥町と隣接していることで岐阜県に編入されたいきさつがあります。

石徹白は、白山信仰から、開祖開山の泰澄大師を大師堂に祀っています。上村、上杉姓の苗字が多いことが特徴ですが、ここに祀る国指定の重要文化財「虚空蔵菩薩像」を管理しているのは藤原家一族の末裔上村修一さんです。これは平安時代に奥州平泉の影響を受けて藤原秀衝が寄進したと言われています。

また、長く神の地とされ、奉仕の住民は年貢を免れ、伊勢同様御師が存在していました。